



新潟大学附属長岡中学校

令和2年6月27日

【第Ⅱ期 協働・充実】

# 附中だより

第3号

教育目標「知性と品位をもち、社会を興す人となるう」

6月1日（月）から学校が再開しました。公共交通機関が混雑する時間帯を避ける必要があるため、9時40分登校、15時終会終了が7月末まで続きます。また、6月13日（土）からは、土曜授業が始まりました。

部活動も少しずつ体を慣らしながら、活動を再開しています。教育相談で部活動が行えなかった6/4（木）、6/9（火）には、生徒の体力が少しでも元に戻るように、K（健康）タイムを設定し、希望者が活動しました。ランニングをしたり、エクササイズをしたりと楽しみながら汗をかき、充実した時間を過ごしました。

7月には多くの運動部で交流試合が行われます。今までの活動の総まとめにできるよう願っています。



【サッカー部の活動の様子】



【野球部の活動の様子】



【吹奏楽部の活動の様子】



【バレー部の活動の様子】



【Kタイム（ビリーズブートキャンプ）の様子】



【Kタイム（ランニング）の様子】



【土曜授業（NR Tテスト）】



【学友会総会に向けての議案書審議】

## 音楽のリズム発表を小学生と幼稚園児が聞きにきました

音楽の授業では、今年度新型コロナウイルス対策ということで、様々な方法で音を出し、リズム遊びを発展させた創作活動をグループごとに行っています。6月23日には2年3組の生徒が6年2組の児童に、6月24日には、1年3組の生徒が幼稚園年長児に対して発表を行いました。中学生は班ごとに協力して準備をして、小学生や園児の前で発表しました。小学生や園児たちは真剣なまなざしで演奏を見つめ、体を動かしながら聞いている子どももいました。



【2年3組が6年2組に発表しました。】



【1年3組が園児に発表しました。】

## 附属長岡中学校「単元の確認」の歴史について

生徒の皆さん、単元の確認ご苦労様でした。学習の成果は発揮できたでしょうか。

さて、附属長岡中学校では一年間に4回、「単元の確認」が行われます。公立の中学校では、「中間テスト」とか「期末テスト」といっています。附属長岡中学校ではなぜ「単元の確認」というのでしょうか。

以前は附属長岡中学校でも、「中間テスト」「期末テスト」という名前を使っていました。「テスト」という言葉を使うために競争という意味合いがぬぐえませんでした。附属長岡中学校は、生徒がそして教師がその単元の内容をどのくらい理解できたか、理解させることができたかをはかるという目的をより明確にするために、「単元の理解度の確認」→「単元の確認」と呼ぶように変えてきたのです。

当時、「単元の確認」は各教科、単元が終わるごとに設定されていました。不定期に行われるため、実施直前の部活動休止期間ありませんでした。

そのような中で、「単元の確認」の前には部活動や諸活動を停止にしてじっくりと勉強に取り組みたい、という要望が生徒からも保護者からもあがってきました。それに応えて、単元ごとでなく、各教科で実施日を揃えることになりました。現在は年に4回、「単元の確認」を行っています。

しかし、「単元の確認」に込められた思いは今も変わりません。単に高得点をとることを目指すのではなく、あくまでも自分自身がどこまで学習内容を理解したか、思考力が身に付いたかを確認する機会です。そして理解できなかったところを今後勉強していくきっかけにしてほしいのです。附属長岡中学校の「単元の確認」の意味を理解して、さらに力を高めていってください。



新潟大学部附属長岡中学校 〒940-8530 長岡市学校町1-1-1

Tel 0258-32-4190 Fax 0258-32-6340

Email kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp ホムページ <http://www.nagaoka.ed.jp/>